

自動運転盤の取扱方法

(排水用)

仕様

- ① 三相 200V ～11kW
- ② 最外形(縦・横・奥行)(mm) : 530 x 460 x 222
- ③ 出荷時の設定
排水用に設定しています。

接続方法

- ① 電源
右図のように端子台(TB1)のR(赤)、S(白)、T(黒)、E(緑)の各端子へ接続して下さい。

- ② 水中ポンプ
右図のようにポンプケーブルを端子台(TB1)のU1(赤)、V1(白)、W1(黒)、E(緑)の各端子へ接続して下さい。

(注) ポンプを設置する前に回転方向の確認をお願いいたします。
ポンプ逆転の場合は、U1(赤)、W1(黒)の接続を入れ替えて下さい。逆転の場合でも多少揚水致しますので必ず確認下さい。

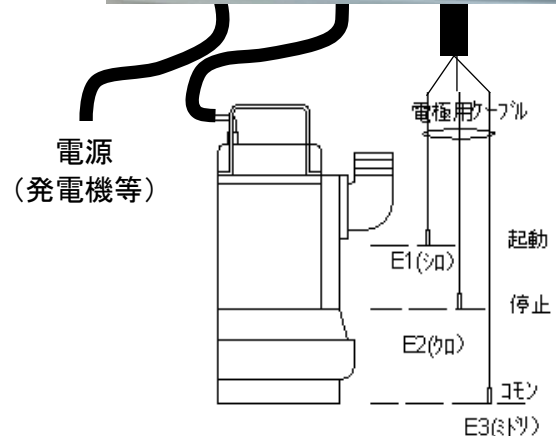
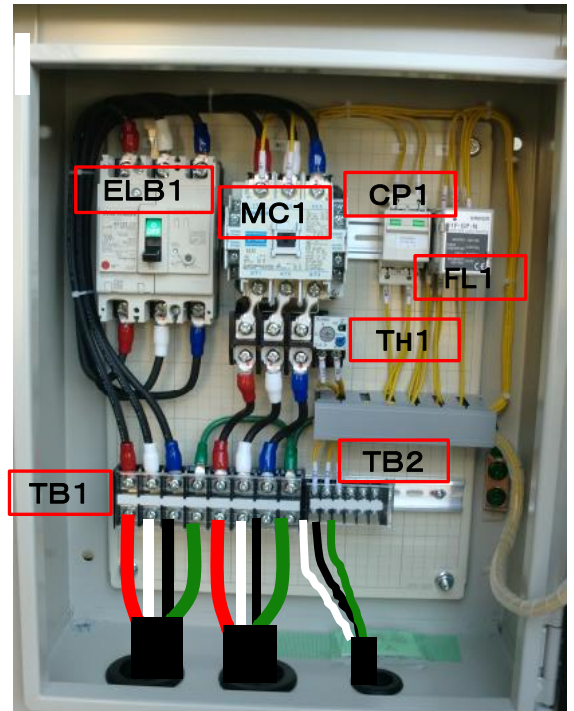
- ③ 電極の取付け・接続(電線を利用した簡易な方法)
3芯の電線を端子台(TB2)のE1, E2, E3 に接続し、電線先端の被覆を取り、運転を行いたい水位に固定してください。
動作は右図を参照してください。
工場出荷時に簡易電極電線が添付されています。
※E3の位置は必ずE2より下方へ。
※電極電圧は8Vですから人体に危険はありません。

- ④ フロート式水位計の接続方法
フロート式水位計2個の場合：
E1-E3(ON)、E2-E3(OFF)に接続
ポンプのON-OFF間を自由に変えられます。

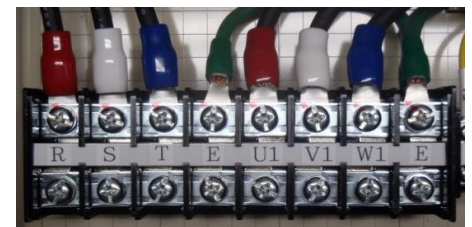
(注) ポンプが間欠運転にならないよう注意下さい。

操作方法

- ① 操作準備
漏電遮断器(ELB1)のスイッチとサーキットプロテクター(CP1)のスイッチをONにして運転盤表面にある切換スイッチ(中央位置で切り)を右へ倒せば自動運転、左に倒せば手動運転になります。
- ② 自動運転
設定水位間で自動で運転します。(起動水位に達すると運転を開始)
- ③ 手動運転
水位計の設定にかかわらず運転します。
- ④ 故障時の対応(原因を取り除いてから行って下さい。)
ブレーカーが中間位置で切れている場合、一旦下げて再度入れて下さい。
サーマル(TH1)が動作した場合は、約 5分後、サーマル(TH1)のリセットボタンを押して下さい。



TB1: 電源・ポンプ端子詳細



赤 白 黒 緑 赤 白 黒 緑
電源 ポンプ

TB2: 水位計(電極等)端子詳細

